

グループディスカッションで出た意見一覧

南阿佐ケ谷地域　第２回
（仮称）デザイン会議　全体会
R8.10.24



グループディスカッションについて

この地域を通る都市計画道路・補助133号線が東京都の第5次事業化計画において優先整備路線に指定されたことと、これまでいただいているご意見を踏まえて、

１．補助133号線によりまちにどのような変化があるか
２．地域で大切にしたいことは何か
３．分からないことや気になることは何か

について参加者同士でグループディスカッションをしていただきました。

グループについて

グループディスカッションでは、第1回会議などでいただいたご意見を整理し、「出かける」「住み続ける」「親しむ」「集う・つながる」の4つのテーマを設定しました。参加者の関心に応じてグループを編成し、当日は以下の構成となりました。

グループ１．全テーマ横断
グループ２．「出かける」移動と日常の安全
グループ３．「住み続ける」防災と住み続けられる暮らし
グループ４．「親しむ」みどりと水辺と住環境・「集う・つながる」交流と居場所と地域の魅力

グループ１：全テーマ横断

1 補助133号線によりまちにどのような変化があるか

- 「整備ありきの」まちづくりは考えられない！
- 根本的なところ、133号線の整備ありきから始まるのはおかしい道路は必要ないと考えているので……
- 道路ありきの街づくりとは何ぞやつまり道路計画がなければ、この会は存在しないということか？
- 大量交通（通過交通）の発生
- 133号線の特異性。既存の道路のない住宅地を抜ける。
- 今は地域の人が利用しているだけだが地域外の車の通り道になってしまう。
- 地域の高齢者が通っている診療所がなくなってしまう。
- 既存の町の分断
- 道路ができると今は自由に行ききできたのに信号のあるところでないとわたれない
- 阿佐谷→南阿佐谷駅のような商店街形成は出来ないと思う
- 街づくりどころか街が分断されることは目に見えている。80年前当初は田畑。現況は住宅地
- 前田中区長が整備したいと都に伺ってえた時の最重要は防災であったが、住民の知恵で解決出来るはず
- 道路より安上がり！！
- 耐震性・耐火性は家の補強などもできる。
- 防災？道路だけではない。のでは？

2 地域で大切にしたいことは何か

- 緑を守り、増やす。
- 土地利用現況から住宅地として残すべき。そのまま残したい。
- 静かな環境を守りたい。緑を大切にしたい。
- 街づくりの基本。コミュニティ。
- 地域の集会所などもっと作りたい。
- 良好なご近所づき合い
- 樹木を大切に。馬頭観音。区の民俗文化財をこわさない
- 人とのつながり。街の特性歴史を学ぶ。道祖神？（ばとう観のん）。地域の方が大切にしているシンボル。

3 分からないことや気になることは何か

- 事業化計画を実施しないことは可能なのか！！！
- 地域として南阿佐谷というネーミングがふさわしくない。エリアは成田東なのに。
- パーソントリップ調査など、人の動き、人口減少、交通量の変化をとらえた都市計画
- なぜ、ここに道路をつくらなければならないのか？



グループ２：「出かける」移動と日常の安全

1 補助133号線によりまちにどのような変化があるか

- 歩行環境の改善。ベビーカーが通っても安全な歩行環境・段差、幅員
- コミュニティバス。ベビーカーが乗りづらいため、車体が低いものに変更される
- （期待）阿佐谷～浜田山の地域がつながりやすくなること（コミュニティとして）商圏ネットワーク将来のため
- 地域間のつながりコミュニティ、商けん。
- 路駐、工事車両→自転車レーンバッティング？自転車レーン増やす？
- 移動しづらい（車・自転車・人）道が、移動しやすいよう改善されること自転車
- 車道と自転車専用レーンができると、接触事故も減るのでは
- あらゆる人が安心して歩くことができる
- 歩いていて南北がどっちなのかわかる明確な軸
- 今回整備される890mだけでは、区内の交通導線は改善されないと思います。
- 部分整備で進めるのは反対です。先行整備された区間に建設関係車輌の待機で、自転車歩行者導線が却って悪化すると予想します。
- 交通量のコントロール。車通りが増える。安全性、⇔減るところもある
- 車が増えることで、安心して、外で遊ぶことができるのか？
- （心配）開発。133号沿いに、このとりくみに無配慮なマンションができること

2 地域で大切にしたいことは何か

- 道路が狭くてもゆずり合って歩行者、自転車、車が利用すればいいと思います。
- 道の中に一貫した緑と、ホッとできる・休める場があるとよい（善福寺川）付近
- 安全災害＞地域に住む人＞＞＞経済

3 分からないことや気になることは何か

- 道路用地を取得するためにどのような手方を考えているのか説明してほしい。例）区画整理、再開発組合、買収など
- 論点。このプロセスを経て、この会議体で何の意見がほしくて、何が変えられるのか。
- 車中心の事業になってないか？（歩く人、自転車が乗る人は？）
- 周囲に住んでいる人は、人や交通が増え、経済が活発化することを、どう思っているのか？
- 災害・安全の問題点だけにフォーカスした開発はできないのか？（道路開発自体が目的になってる）
- 継続的な参加。どのような変化があるか見ること・聞けることができるか？
- 地域の人のための道になるのか？整備のプロセス、地域の巻き込み方の変化



グループ３：「住み続ける」防災と住み続けられる暮らし

1 補助133号線によりまちにどのような変化があるか

- 災害時の通路
- 風通しが良くなるかもしれません
- 緑が増えるかもしれません
- 道路整備を契機としたソフト面でのまちづくり
- 133号線南北交通にはプラスになるかもしれない（道路地元はマイナス）
- 密なコミュニティと、道路整備の両立は叶うのか？
- 地域のコミュニティが分断されてしまう防災面での不安
- 歩いて楽しい街づくり。広い道路では、×
- 緑豊かで静かな住みやすい環境がなくなってしまう不安
- 道路を作っても渋滞は起こりえてしまう
- 太い道を作ってもつながる先は生活道路なので交差点で詰まる
- 道路そのものは防災にどう役立つのか、どれほどの効果があるのか。
- 道路建設中に災害が起きる可能性
- 防災。広い道路が必ずしも防災にはならない。地域での連けいプレーによる初期消火が大切
- 133号地元で交通事故が増える



2 地域で大切にしたいことは何か

- 「あいさつ・会話・居場所」これも「絆」
- 道路にたよらない防災の方法（なまはげ）おまつりでつながりができる
- 今の住宅地であること（絶対維持）
- 防災について見直しが必要（生活道路・過密）
- 人とのつながり
- コミュニティの中で人々がゆるくつながること。交流（防災面、生活面でのつながり）子供がのびのびくらせる街
- 現在の自然と緑
- グリーンインフラ（温暖化にむけて）
- 既存のコミュニティのあり方
- 緑。善福寺緑地＋宅他の緑。今ある緑を残しながら
- 個人宅の緑を補助する制度ができないか

3 分からないことや気になることは何か

- 道路ありきで、街づくりの計画が進んでしまわないよう、この道路計画をいったん立ち止まって考えてもいいのでは？立ち退き住民はどうしたいのか？
- 区がやった道路評価の133号線について住民目線で再評価し直し、区と対話したい
- 大きな地震が来るとどうなってしまうのかな
- 年月とお金をかけて現道のないところに通すまでのメリットは何か知りたい
- （仮称）はいつまで（仮称）なのか？

グループ４：「親しむ」みどりと水辺と住環境・「集う・つながる」交流と居場所と地域の魅力

1 補助133号線によりまちにどのような変化があるか

- 交通が良くなる……けど……
- 南北の行き来がしやすくなりコミュニティバス等の運行で、住民の行動範囲が広がる。
- ヒトスケールのまち・みちがほしい。
- 新しい路線には、視覚的に季節を感じられる様。桜ロード等、広報PRにもなることを見据えてほしい。
- 道ぞいにいろいろな店ができるといい。大型店ではなく、個人の店が並ぶような都市計画ができるといい。
- 振わいのマーケットを設けられる柔軟性（両サイドに）
- てい地に池ビオトープを作りたい。（雨水をみちびく）
- 緑に囲まれた対話のできるコミュニティスペースパークを創り、軽い運動交流ができる。
- ROWBIOswale雨水用のみぞを道の両側ほしい。
- 東田中のうらの暗きょ水路の緑道をいかしたい。
- 治水のため、表面水・雨水をため、しみこませる道路作り
- 高木を配し、熱を押さえられる道路の工夫
- 魚が泳ぐ小川を道のよこに流れているとすてき。
- 歴史について、くわしく知りたい。それについて交流したい。（地域全体の）
- 鎌倉街道の交通量が増える（五日市街道より南、甲州街道まで）狭い道で危険。小学校（浜田山）すぎまるバスの遅れがひどくなる
- 地域で一番緑の多い場所を通る。大きな木がなくなり、緑が減ってしまう。
- ・環境悪化（車がふえることで）・立退き人の配慮・新しい道路のため緑がなくなる
- 車の量を減してほしい。
- 駐車場もう多いけど道路整備でより多くなる
- 駐車場の中と成田東の道路が今悪い状態で、歩くのは危険があるかと思う。
- 道を通すのが第1ではなく、街が今よりよくなる、どんな風に、を示して地権者の人に納得してもらうようにしたい。強行は禁物。

2 地域で大切にしたいことは何か

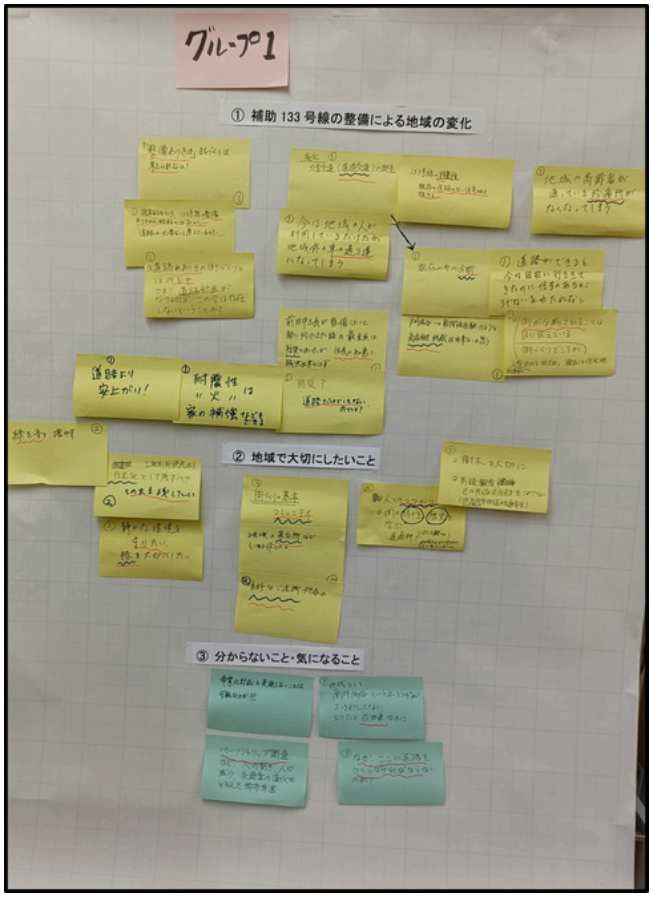
- 歩きやすい町づくり
- 杉並の持つ文化を大切にする所、気品を保たれた路線にして行く。
- 杉二小、東田中の生徒と一緒にみちデザインをしたい。
- 道路上の安全＜人・自転車・車＞
- 子ども、次世代の考え、生活を大切にしてほしい。
- 生き物（動物、植物）の道にしてほしい。
- 地域との対話を大切にしてほしい。
- 馬車・（バス）がほしい！（馬が歩く）
- いそいで決めてほしくない。
- 中杉通りが延びるから、連続したコミュニティ、みこしが通る姿。

3 分からないことや気になることは何か

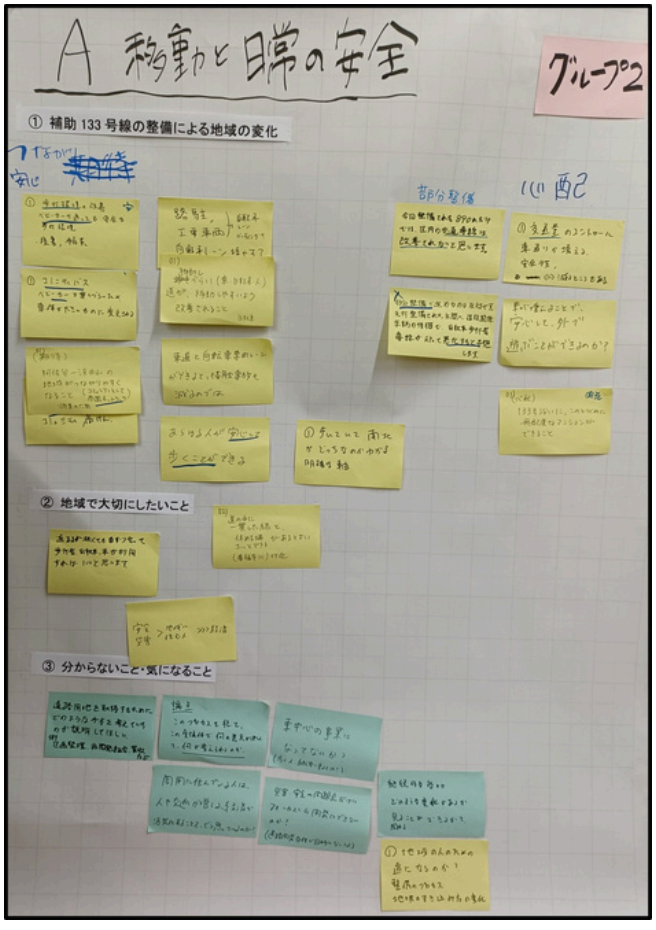
- 133号線の必要性が不明。
- 133号線がなぜ優先されてる？
- 工事中の住みやすさと治安維持。現在の地権者が誇れるような将来ビジョンの明確化。
- 緑を増やすのが正しいのか？本当にCO_2を減らす？どこの町も同じ見た目になるだけでは？維持が大変
- 都の第6次事業化計画はいつか。
- 工事着工がいつからか段階的に住民が関わることができる様、全体のスケジュールを知りたい
- 道が広くなる＝建築大きくなる＝空家問題は？
- できた空地をどうする？期間を決めて何かに利用できればよいのでは
- 出来た姿だけのイメージより、変化する経過を見せないと心配するだけ。
- 事業が進むのがそもそも前提なのか？
- 道路のゾーニングは決まっているのか？
- ゾーニングは決ってるの？
- 都と区の関係が不明（区は反対できるのか）
- ひき返すこともできる？（計画をやめる）
- 駐車場を多目的スペースとして利用できるか。
- 大型スーパーができてほしくない。

グループごとの意見一覧（写真）

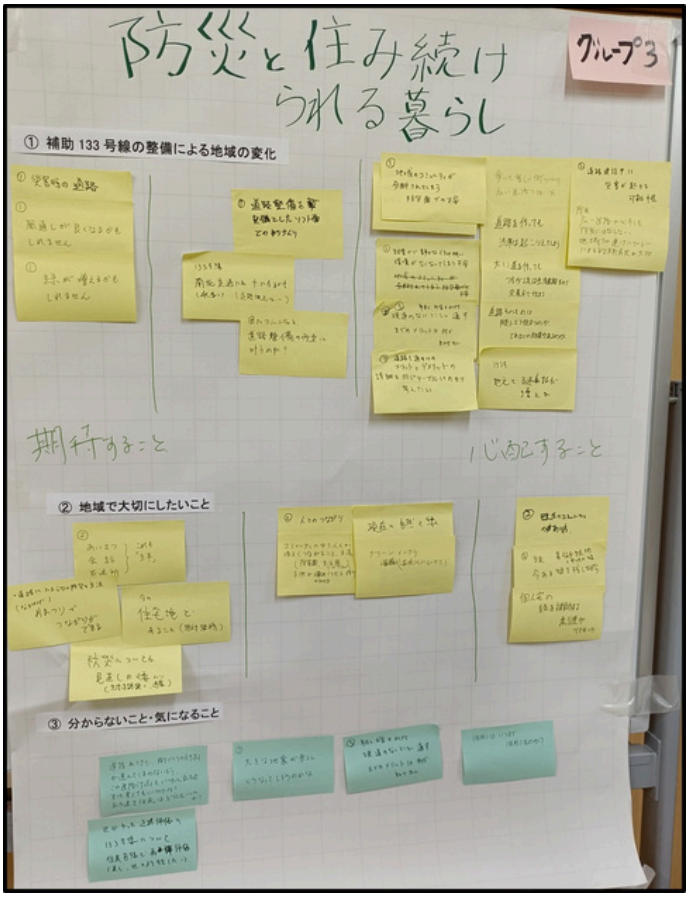
▼グループ１：全テーマ横断



▼グループ２：「出かける」移動と日常の安全



▼グループ３：「住み続ける」防災と住み続けられる暮らし



▼グループ４：「親しむ」みどりと水辺と住環境「集う・つながる」交流と居場所と地域の魅力

